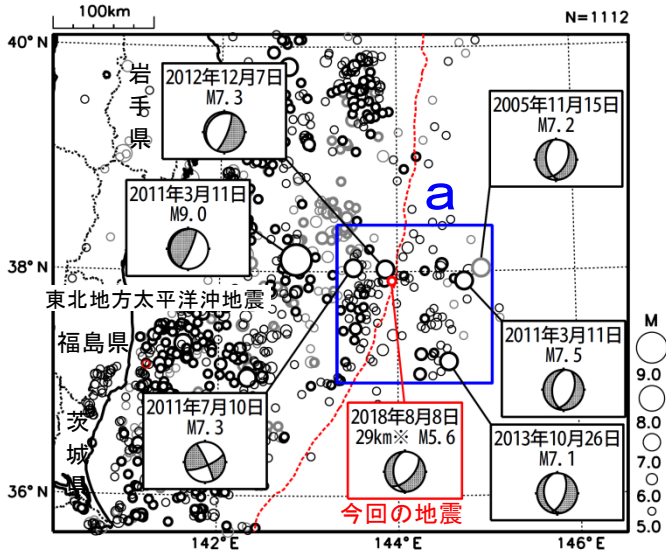


8月8日 三陸沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2018年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を薄い○、
2011年3月11日以降に発生した地震を濃い○、
2018年8月の地震を○で表示
図中の発震機構はCMT解



※2018年8月8日の地震（M5.6）の深さはCMT解による。

2018年8月8日00時12分に三陸沖の深さ29km（CMT解による）でM5.6の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

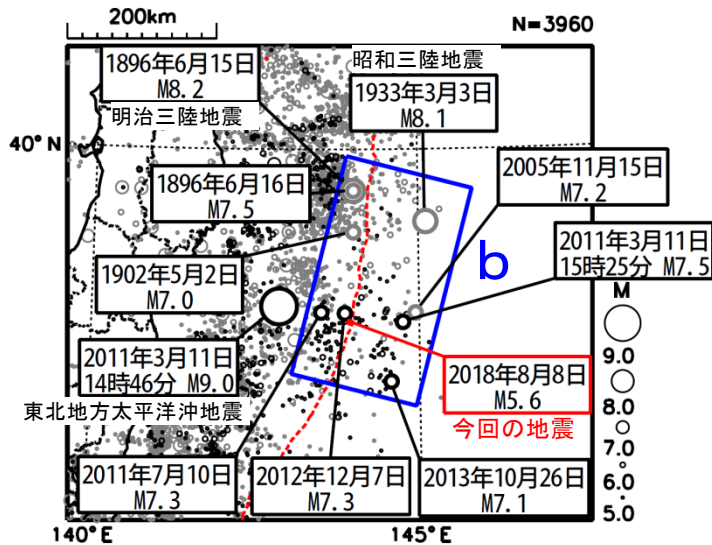
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0を超える地震が時々発生しており、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、東北地方太平洋沖地震）の発生以降、M7.0を超える地震が4回発生するなど地震活動が活発化している。2012年12月7日にはM7.3の地震（最大震度5弱）が発生し、この地震により宮城県の石巻市鮎川で98cmなど、東北地方の太平洋沿岸で津波を観測した。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M8.0を超える地震が2回発生しており、1896年6月15日に発生した明治三陸地震（M8.2）により、岩手県三陸町綾里で38.2m（遡上高）の津波が観測され、死者26,360人、負傷者4,398人など甚大な被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

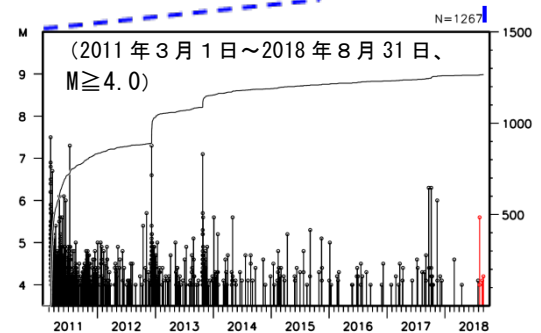
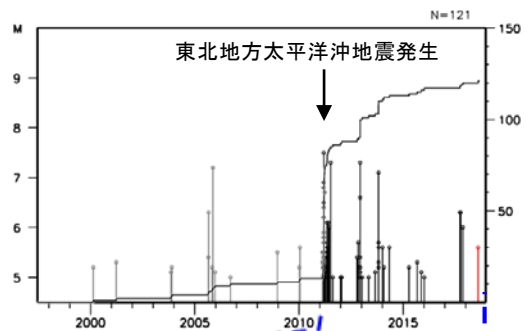
震央分布図

(1885年1月1日～2018年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

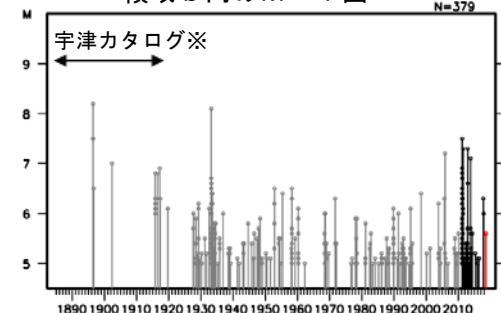
2011年3月10日以前に発生した地震を薄い○、
2011年3月11日以降に発生した地震を濃い○、
2018年8月の地震を○で表示



領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図



※震源要素は、1885～1922年は茅野・宇津（2001）、宇津（1982, 1985）による